

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名		有害鳥獣駆除事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款 6	項 2	目 1	事業連番 10261	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	駆除隊への業務委託による有害鳥獣駆除事業の実施。合併後、平成18年度から合志地区、西合志地区の駆除隊に委託をしている。環境の変化により繁殖能力が高い群れがいるものと思われ、駆除後も被害報告が出てきている。
【業務の流れ】	駆除依頼受付後、該当地域の駆除隊へ連絡、駆除報告委託料支払い事務
【主な予算費目】	職員手当等、役務費、委託料
【意見や要望】	被害の増加に伴い、駆除要望は高まっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	有害鳥獣駆除事業委託 (カラス・イノシシ)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		有害鳥獣駆除委託契約事務 駆除依頼受付後、該当地域の駆除隊へ連絡、駆除報告、委託料支払い事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日数 → イ 有害鳥獣駆除従事者延日数	予算の主な増減の理由 有害鳥獣による農作物被害を防ぐために防除装置を新規導入するから増としている。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	農家	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → イ 農家数 戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	有害鳥獣から受ける農作物被害を減少し、生産量を増やす。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → イ 被害額の対前年比 現年度額/前年度額 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
有害鳥獣の減少により農作物の生産量増加につながるため、成果指標を「被害額の対前年比 現年度額/前年度額」と設定した。目標値は前年度より被害を減らすために80%とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア	日数	175	159	130	238	130	130	130	130
	イ									
	ア	戸	758	758	630	699	630	630	630	630
② 対象指標	イ									
	ア	%	50	400	80	54	80	80	80	80
③ 成果指標	イ									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	219	275	275	204	687	173	
		地方債	千円							
		その他	千円	10	11	10	11	10	14	
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	326	298	326	189	1,002	463	
		(A) 事業費計	千円	555	584	611	404	1,699	650	0
		(A)のうち指定経費	千円	15	16	29	35	29	68	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	15	16	29	35	29	68	0
		正規職員従事人数	人	8	8	7	4	7	7	0
人件費	延べ業務時間	時間	430	450	430	170	430	430	0	
	(B) 人件費計	千円	1,713	1,670	1,713	0	1,713	1,713	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,268	2,254	2,324	404	3,412	2,363	0	

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 数字の達成はしているが、農業共済にあげられた数字が主になっており、26年度の被害額には例年大部分を占めるカラスの被害報告が含まれていなかった。さらに、26年度はイノシシによる食害があった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 適当な場所と時期を選んで例年どおり春・秋のカラスの鉄砲による駆除を考えている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 それぞれの農地における防除対策の研究をすすめ、農地側からの対策を平行して実施することで成果の向上を図った。 また、住民からの情報をもとにピンポイントで駆除を行った。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市の委託事業として実施しているが、委託料の実態は玉代にもならないくらいで、出動はボランティアとしているのが現状であり、削減をするのは難しい。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務手続き等は担当が行っており、今後も担当が直接関わる事になる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 広域的な問題であり、市が事業主体としての現状対応も止むを得ない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 委託事務なので適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

有害鳥獣による被害報告を数年スパンで見ると増加傾向にあり、それに伴い駆除隊への捕獲依頼も増加傾向にある。また、いのしし、カラスだけでなく、サル出現の報告もあった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						